



「（仮称）地域脱炭素を実現するための勉強会」

えどがわでんき日記



第1号 令和6年4月発行

4月7日に顔合わせ式を行いました。松江五丁目を中心に関係する船堀地区・松江地区の町会・自治会より、計18名にご参加いただきました。

本区の気候変動の現状や地域課題解決に向け、目的や方針などを確認しました。



17の目標のうち3つのテーマを深掘り

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



本勉強会の目的

- ・ 2030年度までに（電気使用由来の）二酸化炭素排出を実質ゼロにします。
- ・ 具体的な気候変動対策を進めるため、関係する町会・自治会で環境省モデル事業「脱炭素先行地域」へ挑戦。

取組方針

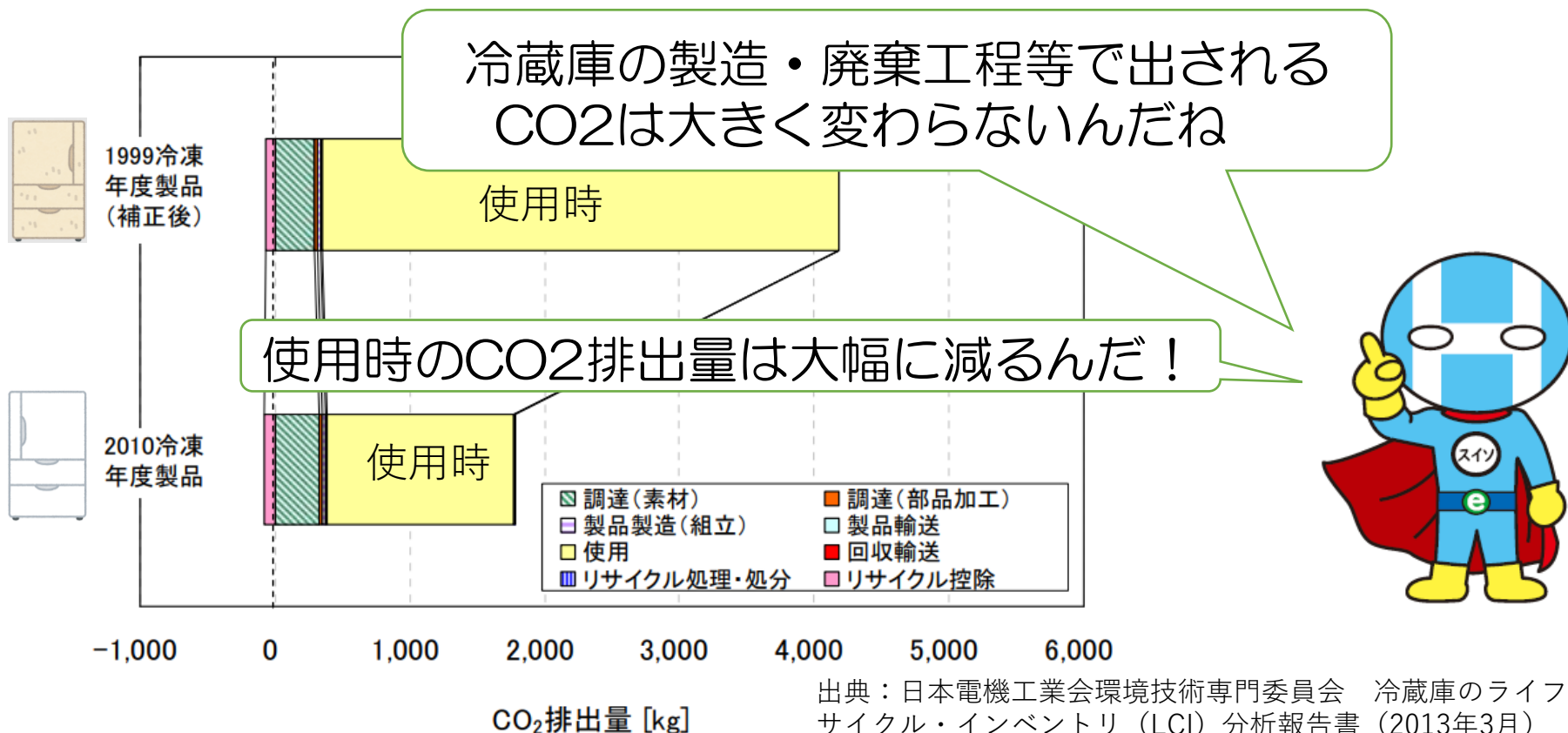
- ① 電力の地産地消（江戸川区産）を追求します。
- ② 脱炭素の取り組みで地域課題の解消を目指します。
- ③ 省エネの推進を目指します。
- ④ 以上をみんなで考えます。

裏面に続きます

まちのみなさんから出た質問にお答えします！

Q.最近の冷蔵庫は省エネと言われているけど、製造・廃棄時にも二酸化炭素を出すなら、買い替えることが環境に優しいとは言えないのでは？

A.「もったいない」が、もったいないかもしれません！



製造・廃棄工程で排出されるCO₂は、図のとおり10年間でほとんど変わりません。一方で、使用時のCO₂や電気使用量には大きな差が出てきます。10年程度で買い替えることで、CO₂が大幅に減るんですね。

つまり、「もったいない」から、壊れるまで使うことが、かえって環境にもお財布にも「もったいない！」と言えるかもしれません！



今後も、みなさんの疑問に答えていけるようなニュースレターを目指します。
よろしくお願いします。